

みんなでやろう「生活防災」

ポイント4

毎月くどいようですが、生活防災の基本は、自分の「できること」「関心のあること」からはじめることが大切！

もうお判りいただけましたでしょうか？・・・えっ、まだ！？

ひょっとして、先日の地域清掃活動「グリーンシティ・クリーン作戦」に参加しなかったの？あれ、参加したのに気づかなかったの？・・・では、今回“地域清掃も、防災に繋がる”ことをのちほどご説明しましょう！

話は変わりますが、マンションとしては大規模修繕工事が、各家庭では整理整頓や家具の転倒防止が、例えば予防医学の部分です。しかし、予防医学だけでは充分ではなく、公衆衛生が危機管理全般においてもとても大切なことです。実は私たちが備えなければいけないのは、地震だけではないのです。現代社会は犯罪の増加、異常気象による河川の氾濫、新型インフルエンザの蔓延など近年多種多様な危険が私たちの周りにはあります。そういう危険に備えようと思ったら、いろいろな問題と同時にいかかわっていかねばならないのです。

体について考えてみれば、体調が悪くなると胃腸薬、風邪薬、心臓病の薬など、いろんな薬をたくさん用意しなければなりません、それよりもストレスをためないようにするとか、栄養に気を付けるとか、またお風呂に入ってしっかり温まっておけば風邪も引きにくいし、暴飲暴食をしなければおなかを壊すことがないということになります。

防災における公衆衛生というのは健康管理と同じで、普段から隣近所の人と仲良くしておけば、地域の監視力で子どもが連れ去られるのを防ぐ効果があります。また、コミュニティがしっかりしていると、高齢化社会を迎えても、地域ぐるみの助け合いなど、福祉の問題にも携わっていけることになります。そういうことを踏まえて多様な危険性に対して、福祉や環境、食べ物のリスクの問題など、同時に取り組むことが必要になります。まさに、これからの危機管理の中でも重要なひとつです。要するに、**いろんなリスクにしっかり備えることが必要である**ということなのです。

公衆衛生を、地震対策で考えると、例えば地震で家が倒壊した話では、壊れたのは老朽化していたこともありますが、実際はシロアリが巣食ってしまい、家の土台がボロボロになっていたり、湿気により基礎が腐っていたりするケースが、すごく多かったようです。



昔はどの家でも、みんなで大掃除をやっていました。床下に潜って、土台が少しでも腐っていたら大工さんに直してもらっていました。でも今は大掃除をしなくなったので気づかなくなっているのです。また火災が起きたのも、家の整理整頓が不十分で、物がコンロの上に落ちてきたとか、逃げようとしたら家の中が乱雑なのでコンロをひっくり返したなどの原因で、火事がたくさん起きていたのです。これらは家の中の整理整頓をしておけば防ぐことができたはずですが。大掃除や整理整頓は、まさに住まいの作法であって、家も健康状態で決まります。

では、話を戻して防災の公衆衛生をもう少し身近なことでお話ししましょう。

地域清掃活動「クリーン作戦」では、地域のたくさんの人たちが集い顔を合わせ、挨拶や会話をし、共に汗を流す。（頑張ったご褒美に**イカ焼き**を食べる(^0^)

「まちを綺麗にする」という目的にむかって共同作業をする。その中で地域の弱体化している部分を発見する。それを放置するのではなく、その部分をより良く改善していくことの合意形成が共同作業を通して自然と築いていけるのです。

水路掃除で考えてみると、泥まみれになりながらスコップを持って「泥あげ」をする。身体は泥まみれだが、綺麗になった水路を見ると心から嬉しくなる。ゴミ拾いも同じで、普段は清掃の方々に綺麗にさせていただいているから気づかなかった「当たり前のようなゴミのないマンション」。でも実際には、毎日繰り返される「心ない人のポイ捨て」の多さにも気付きます。自分たちが綺麗にしたまちを「自分は汚さない」という決意表明になります。するとマナーが向上し、ポイ捨てや、壊れた危険な箇所もなくなり、本当に住みやすいまち、笑顔あふれる楽しいまちが続いていきます。すると災害時の「命を救う初動体制」の構築である共助の基盤づくりが、自然とできあがっていくのです。

私たちのコンセプト「**防災を防災と語らずとも防災の役割を果たすこと**」。これが究極の「生活防災」です。みなさんも生

活防災の醍醐味のひとつ「みんなで地域活動」をしてみませんか？「**笑顔あふれるまちづくり！**」そこから新たな「生活防災」をあなた自身が見つけ出し様々な危険に対処できる、あなたにあった防災減災活動がきっとあるはずです。

・・・それは、以外と身近にあるかもしれませんね！

